

地元盆踊り大会に協力

会場の櫓設置作業等

(株)小俣組(横浜市南区)



【お三の宮納涼盆踊り大会】に協力した。日枝小学校校庭で開催された盆踊りでは、お三の宮地区連合町内会長より「当町会の初区・小俣順一社長は、18日、地元町内会の「お三の宮納涼盆踊り大会」に協力してほしい」との要請を受け、小俣社長は「地域社会・文化への貢献活動の一環として少しでもお役に立てれば」と快く引き受けた。当日は、朝早くから櫓の設置担当者

地元町内会盆踊り大会に協力

小俣組

小俣組(横浜市南区、小俣順一代表取締役)は18日、地域貢献活動の一環として地元町内の「お三の宮納涼盆踊り大会」に協力した。

当日は、会場の横浜市立日枝小学校のグラウンドで午前8〜11時に盆踊り用のやぐらを施工・設置。午後3時から始まった盆踊り大会では、かき氷、ヨーヨー風船すくいなどの模擬店が出店され多くの人でにぎわい、同社はドローンによる記念写真の撮影も実施した。盆踊り大会には、小俣社



左が小俣社長

長が来賓として招待された。今回の協力は、お三の宮地区連合町内会長から「町内会で初めて盆踊り大会を開催するため、是非やぐら作りを協力してほしい」という依頼から始まり実現する運びとなった。小俣社長は「少しでもお役に立てれば」という理念の基、今後も地域の社会・文化への貢献活動の一環として、多様な取り組みを展開していくという。

お三の宮地区連合町内会 久しぶりの盆踊り盛況



会場を盛り上げた盆踊り

「お三の宮納涼盆踊り大会」が8月18日、日枝小学校の校庭で開催された。お三の宮地区連合町内会が主催し、各町内会がかき氷、スーパーボールすくいなどの模擬店を出店。同校に通う児童や

地域住民らが会場を訪れ、にぎわいを見せた。同連合町内会としては数十年ぶりの盆踊りの開催。地元の子もたちに夏の思い出を作ってもらいたいと企画された。会場となった同校もその思いに賛同し、夏休み前には子どもたちに盆踊りを教えるなど、地域一体で準備を進めてきた。

置かれた。高さ約3・5mのやぐらの上では太鼓の演奏、その周りで子どもから大人まで幅広い年代が輪になり、お三の宮音頭や南区音頭を踊り会場を盛り上げた。同連合町内会の米田裕信会長は「どれくらいの人が集まるのかからず手探りで準備をしてきた。久しぶりの盆踊りを多くの人に楽しんでもらえたのでは」と話した。

が汗を流し開催の準備に努めた。(写真上) 開会式には小俣社長が来賓として(写真下)招かれ、かき氷やヨーヨー風船すくい等の模

擬店で多くの地元住民や子供たちが賑わった。また、盆踊り大会の様子をドローンを活用した記念写真の撮影も実施された。